

昆虫 72 企画展「キケンないきもの」(昆虫など)

昆虫担当 中峯敦子

7月2日(土)から開催する企画展「キケンないきもの」では、人に危害を与えるキケンな生き物(危険生物)や植物を展示、解説します。今回は、悪名高きキケンな虫に焦点を当てて紹介します。

1 キケンな虫…衛生害虫とは

生垣の剪定中に毛虫にさされたり、キャンプ場でブユに咬まれて数日間、腫れが引かなかったり、虫にひどい目にあわされたという方も多いでしょう。

このように人やペット、家畜などに対して害を与える虫(昆虫類だけでなくダニ類なども含めた広義の虫)を「衛生害虫」と呼びます。これらの虫は、からだに毒を持っていたり吸血したりして、直接的に害を与えるものや病原体を媒介するものがあります。(表)



吸血中のヒトスジシマカ

(表)：衛生害虫の例

加害による分類	関係する虫(例)
血を吸う昆虫	ヒトスジシマカ、アカイエカ、ネコノミ、イヌノミ、アタマジラミ、ケジラミ など
刺したり咬んだりする昆虫	スズメバチ類、アシナガバチ類、ミツバチ類、ブユなど
触れると毒針や体液で皮膚炎を起こす昆虫	チャドクガ、イラガ、アオバアリガタハネカクシ、ツチハンミョウ類など
細菌等を持ち運ぶ昆虫	チャバネゴキブリ、クロゴキブリ、イエバエ など
ダニ類	ツメダニ、ヒョウダニ、マダニ、ツツガムシ など

※この他、アリ類、カメムシ類、ヤスデ類など不快害虫(動物)も衛生害虫に含まれる。

上記のうち、企画展では特に吸血昆虫、刺咬昆虫、接触昆虫について解説します。

2 虫の言い分

キケンな虫にはキケンなわけがあります。いくつかの虫の言い分をまとめてみましょう。

・その1「近づくな！」

スズメバチ、アシナガバチ、ミツバチ類は女王バチから生まれた一族が役割分担して生活を営む社会性があります。ハチの攻撃は、自分たちの生活基盤である巣を破壊し、平穏な営みを乱すクマや鳥などの天敵に向けられてきました。そこで近づく人がいれば、天敵同様の脅威とみなし、巣を防衛したい一心で向かってくるのです。

・その2「食うな！」

虫は、鳥獣類の貴重な栄養源です。ツチハンミョウやチャドクガの幼虫は、体内や体表の毛に毒をもちました。天敵が自分を食うことで嫌な



毒液を出す

ヒメツチハンミョウ 経験を学習させ、 仮に自分が命を落としても、以後の仲間や子孫は餌食にならないようにしています。

・その3「生きて子孫をのこすため」

毒を武器に獲物を捕らえ、生きる虫もいます。また一部のカヤブユ、アブの仲間は、メスだけが吸血します。卵巣を発達させ、たくさんの卵を産むために必要な養分を人や動物の血液から摂取するのです。

3 虫を知り、キケンを知る

人は、毒のアレルギーで重篤な症状に陥ったり、虫が運ぶ病原体で感染症を発症したりすることもあります。しかし、虫をやみくもに恐れてもきりがありません。虫の行動や危害の特徴を知り、適切な付き合い方を心得ると、野外での不意な遭遇にも、冷静に対処できるのではないのでしょうか。